

〔昨年度に船橋市内の県立学校から出された改修要望〕

※それぞれ校内優先順位1位のことを掲載

学校名	要望箇所	要望理由
船橋高校	校舎の階段	階段の手すりに柵がついておらず、危険である。以前柵がついていたような形跡はあるが、現在は一部しかついておらず、手すり自体も木目で大変滑りやすい。転落防止を図るため落下防護網または手すりを設置したい。
薬園台高校	ポンプ室	管理棟用の揚水ポンプが経年劣化により腐食が進行して水漏れしており、テープで処理している状態である。破損した場合、管理棟への水の供給に支障が出るため取り替えたい。
船橋東高校	トイレ設備	和式トイレを使用することがない、あるいは使用できないという生徒の声が多く、休み時間では間に合わない場合もある。また、足や腰を負傷した生徒は、洋式しか使用できない。実情を鑑みて、現状の設置数では足りないため、各トイレ1基ずつ和式便器を洋式便器に交換したい。
船橋啓明高校	自転車置場	自転車通学者の増加及び平成28年度学級増に伴い、自転車置場の増設および破損部分の補修・改修。
船橋芝山高校	校舎	雨天時、雨漏りにより4階トイレに雨水が入ってしまう。体育館でも雨漏りがあり、授業や式典にも支障があるので、補修したい。
船橋二和高校	校舎の防火シャッター	降下不良のため。耐震改修工事に伴い、現在は応急的に降下不良は解消されたが、防火シャッターを縦に真っ二つにした上でそれを継ぎはぎしたような形跡があり、またいつ降下不良となってもおかしくない状態であるため、予算措置を希望する。
船橋古和釜高校	浄化槽設備	ばっ気用送風機No.2軸受け部摩耗により、回転部がロックすることから運転停止(平成28年4月から)送風機は通常2台による交互運転で汚水処理するため不良本体を早急に改修したい。
船橋法典高校	渡り廊下	普通教室棟から体育館への渡り廊下はH24年度から雨漏りしている状況で修理をしても発生箇所が特定できず非常に苦労している。H27年度に入り雨天の際、床が水浸しになりバケツやパイロンを設置し対応している。
船橋豊富高校	自転車置場	経年劣化が進んでいる。さらに平成26年1月の大雪で屋根と柱がたわんで使用不可能になった箇所があるので、改修を行いたい。
船橋北高校	電気設備	自家用電気工作物の点検で遮断機のリセット機構の不具合が指摘されているため、速やかに更新したい。
船橋特別支援学校	トイレ設備	肢体不自由校である本校の来客が車椅子で利用できるトイレが1箇所しかないため、研修会等で使用することの多い2階のトイレ改修を要望する。
船橋夏見特別支援学校	校舎	普通教室棟および管理・特別教室棟の1階廊下では、結露が発生しやすく床が滑りやすいため、生徒が転倒する恐れがある。本校は肢体不自由校であり、転倒した場合、命の危険があるため、結露に強い床材への改修を要望する。

# 県立学校から2600項目の改修要望

県立高校や県立特別支援学校から、昨年度、2668項目の施設や設備の改修要望が出されていますが、予算が措置されず、2000項目以上が持ち越されています。

2%にすぎません。その前年にも2676項目の要望が出たにもかかわらず、2000項目以上が持ち越されています。

しかし、要望の内容を見ると、「床の改修が行われておらず、一部床が上下する箇所がある。また、雨天時に床が膨張し、バレー支柱の蓋がず

ずれ、支柱が入らない時期がある。平成28年7月にバレーネットが切れ、衝撃で支柱が振れて生徒がけがを負う事故もあった」(千葉東高校)、「緊急時・現状の滑り台では2階からの車いすでの避難ができず、一人一人を1人2人で抱えて降り、もう一人が車椅子を持っていく状況であるため、避難時間に15分近くかかる。これでは災害時の適切な対応ができないため、早急に避難スロープ通路を設置したい」(松戸特別支援学校)など「生徒が危険にさらされているものが残されている」が「法定検査により、水槽の水位の低下や管の腐食が指摘されている」(土気高校)、「法定検査(浄化槽法11条)および保守点検記録票による所見・必要な措置記載事項なので改修をお願いしたい。機械室等入り口とびらも開けにくくなっており、検査・点検時にこじ開けている状況」(成東高校)など「法令で指摘されているもの」もそのまま。

「埋設管においては腐食が進み、漏水を繰り返している。修理している先から漏水が始まり困難を極めた経緯がある。断水となれば、本校は屋上に高架水槽がないため、即時に給水が停止され、その影響は甚大である」(千城台高校)、「水生生物、特に海洋生物においては海水が循環し、ろ過が行われ、酸素が十分に供給されないと生命を維持することができない。停電にたいして自家発電設備が必要不可欠である」(大原高校勝浦若潮キャンパス)など「教育に支障が出ているものや出る恐れのあるもの」などで、放置できないものばかりです。

10月16日に行われた県議会決算特別委員会では、緊急性の高いものから改修をしているとしながら、「限られた予算の中でやりくりしている」と予算が足りないことを認めました。無駄な開発ではなく、教育条件改善に最優先で予算をつけるべきです。

め、早急に避難スロープ通路を設置したい」(松戸特別支援学校)など「生徒が危険にさらされているものが残されている」が「法定検査により、水槽の水位の低下や管の腐食が指摘されている」(土気高校)、「法定検査(浄化槽法11条)および保守点検記録票による所見・必要な措置記載事項なので改修をお願いしたい。機械室等入り口とびらも開けにくくなっており、検査・点検時にこじ開けている状況」(成東高校)など「法令で指摘されているもの」もそのまま。

「埋設管においては腐食が進み、漏水を繰り返している。修理している先から漏水が始まり困難を極めた経緯がある。断水となれば、本校は屋上に高架水槽がないため、即時に給水が停止され、その影響は甚大である」(千城台高校)、「水生生物、特に海洋生物においては海水が循環し、ろ過が行われ、酸素が十分に供給されないと生命を維持することができない。停電にたいして自家発電設備が必要不可欠である」(大原高校勝浦若潮キャンパス)など「教育に支障が出ているものや出る恐れのあるもの」などで、放置できないものばかりです。

10月16日に行われた県議会決算特別委員会では、緊急性の高いものから改修をしているとしながら、「限られた予算の中でやりくりしている」と予算が足りないことを認めました。無駄な開発ではなく、教育条件改善に最優先で予算をつけるべきです。